

ひとりで 悩まないで下さい。

心配ごと **退散解消**

孤独死が他人事ではない

NPO 作ってと頼まれた

子育て中のお金のやりくり

漠然とした不安

家族の介護認定

エクセルとワードができなさすぎる私

自分がボケちゃう前にしておけることって？

下の階に住んでるおばあちゃんが心配

介護の手続き、書類の書き方

給付金や支援制度のこと

恐くないパソコンの使い方

サポセン 無料 相談

「どこに聞いていいのかわからない」

「知り合いには相談したくない」

「理解できない制度や手続き」

サポセンでは、市民活動団体に所属している専門家による
相談窓口を設けています。

なんと!

無料です。

のたろる春★号

((すかっこの市民活動情報))



「私が死んだあと、このパソコンはどうなるの？」パソコンの終活方法なども！

パソコンのこと NPO 法人認証取得 その他

その1 いまさら・相談室

毎月第3水曜日 13:00～16:00

「今さらどこに聞いてよいのか分からない」「よそで相談したのだけれど、難しくてよく解らなかつた」「教室に通っていたんだけど、自分には合わなかつた」など、私たちはセカンドオピニオンの存在ですね。解らないことだけ聞きに来てOK！エクセルのことから遺言書の作り方、NPOの立ち上げ方まで。メンバーは企業や官公庁等のOB。豊富な経験を生かして経営や教育に対してコンサルティングや支援を行っています。
実施団体：NPO 法人産業クラスター研究会

「おじいちゃんの家、ゴミ屋敷になりそうで心配・・・」いちばんよい方法を考えていきましょう。

一人暮らし 将来の財産管理 病院・施設への入退院の契約

その2 成年後見制度利用 無料相談会

毎月第4金曜日 13:00～16:00

成年後見制度とは、高齢者や認知症の方などの財産を守るための制度です。病院・施設への入退院や介護の契約などは、解りにくくて難しいものです。日常生活、財産の管理に不安のある方や、ご家族の方もご相談ください。担当する会員メンバーはみんな百戦錬磨の行政書士。さまざまな事業所ともつながりがあるので、実生活のあらゆる相談もお気軽にお話ください。

実施団体：一般社団法人 コスモス成年後見サポートセンター 神奈川県支部横須賀地区



〈この日担当の平川さん〉

解決の糸口をつかむきっかけにしてほしいです。 生活のトラブル 税金 相続 労災や保険のこと

その3 よろず相談

毎月1回不定期 「横須賀知恵袋」のHPから要予約

弁護士・税理士・行政書士・社会保険労務士・ファイナンシャルプランナーに同時に相談ができる「横須賀知恵袋」です。8年前、子育て仲間だったメンバーで団体を起ち上げました。親しみのある名称は、気軽に相談してほしい思いで名付けました。親子の困りごとなど、なんでも聞いてください。地元に向けた活動に力をいれています。声がかかればどこへでも赴きます！コロナ禍が終息したら、子ども食堂にも出向いてみたいです。

実施団体：横須賀知恵袋



ひとりで抱え込まないでお話しに来てください。 介護のこと 福祉のこと

その4 介護相談

毎月第3土曜日 13:00～15:00

福祉や介護全般で、制度のことから具体的な困りごとまで。「これから介護を」という方も、仕事をやめないでできる方法をいっしょに考えます。まわりの人には話せないこともあると思います。介護職の方の相談や支援もしています。大切な方を看取られたお話も聴かせてください。お待ちしております。

実施団体：公益社団法人 神奈川県介護福祉会 横須賀三浦支部



ひとと ～市民活動を支える人たち～

のたろんフェア実行委員会 委員長
一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター神奈川県支部横須賀地区

小串 滋彦 さん

のたろんフェア 2022、若手の働きを静かに見守った。
昨年と今年の実行委員長小串さんにお話を伺った。

1982年横浜生まれ、小学一年の時、家族で横須賀に転居、以来、横須賀に住み続けている。家族は仲がよく、最近まで、夏と冬の旅行を楽しみにしていたという。

子供の頃は、虫が友達。コオロギ、カマキリ、アゲハチョウ・・・よく虫を捕まえていた。カニの載っている図鑑を買ってもらって、アカデガニ、オオシオマネキ、トラフカラッパ、カニの絵を毎日描いていた。「ずっとカニの勉強していれば、さかなクンか、小串か、って言うくらいになっていたんじゃないかな」という。

小学5年の頃、Jリーグ開幕という大事件が起こる。学校はサッカー少年たちであふれた。中学では、部活動で、サッカーに勤しんだ。高校でもサッカー部に入ったが、馴染めないで一年で退部した。

大学は、法学部。一年浪人して法科大学院に進学。司法試験に挑戦した。大学院卒業後、3回受験するも合格に至らず。在学中に資格を取っていた行政書士の登録をして、事務所を開いた。はじめての仕事は、友人のつてから、深夜営業店から警察署への届け出書類の作成だった。

官公署提出書類の作成等の仕事と並行して、以前より、やりたいと思っていた、成年後見の仕事を取るために、(一社)コスモス成年後見サポートセンターに登録。研修を受けたり、横須賀地区の相談会の担当をするようになった。

のたろんフェアへの参加がきっかけで、市民活動サポートセンターとの付き合いがはじまる。(※)小串さんが活動紹介コーナーに同センターの相談会の出展を企画。その後、誘われて実行委員会に参加、コロナ禍の実行委員長を2年間務めた。サポートセンターの無料相談会も担当している。

「障がいのある方の中には、同じことを何度も繰り返し

て話す、ちょっとしつこいと受け取られがちな人もいる。けれど、その人たちにも、その人たちなりの考え方、見え方があるってことがわかってくると、その人が、何をみているのかな?というところに興味がわいて

くる。この人には、何がみえているんだろう、何を知っているんだろう、何が出来るんだろう・・・ということに関心もてるようになれば、『その人の話をじっくり聴いてみよう』となるんです。いつ、そういう風な考え方になったか覚えていないけれど、市民活動をするようになり、いろんな人と話をして、人に興味を持てるようになった。昔は、虫に興味がありました、今は人に興味があります」

「いろんな人がいていいんだよね」というのがわかると、生きやすくなる。心の面でゆとりがもてるようになったとも話してくれた。

小串さんが、力を入れている「成年後見」では、後見を受けている人の話をよく聞いて、その人の意思を尊重してゆくことが大切という。市民活動は、小串さんにとって、仕事の広報の場であると同時に、自分自身の学びの場であるのかも知れない。

夢は「後進の育成」。サポセンの仲間では自身が若い世代だが、教師だった両親に「教員に向いている」と言われるだけのことはあるのだろう。

自ら「飽きっぽくていろいろなことに興味をもつ」という小串さん。市民活動はどこまでも広がってゆく活動なので、まだまだ、いろいろな分野に挑戦して行ってほしいと思ったインタビューだった。



(※) サポセン 20周年記念誌 6ページ参照

(はこぎき)

団体紹介

一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター 神奈川県支部横須賀地区

成年後見制度の普及や成年後見人の育成と推薦を行ない、高齢者、障がい者（認知症や知的障がい、精神障がい）など判断能力が不十分になった方の権利を守り、支援をしています。

毎月一回（毎月第4金曜日 13:00～16:00）、サポセンで「成年後見制度の相談会」をおこなっています。



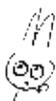


ぬまちゃ〜ん、じゃない！？今日はカウンターに居るのは、おはるさんだ！

ねえねえ、お話聞かせてよー！



えっ、そんなお話しすることなんてないわよ〜。



おはるさんは、のたろんが初めてサポセンに来た時からお仕事してたくらい、サポセンにいるじゃない？おはるさんにとって市民活動ってなんなのー？



難しいこと聞くわねえ。う〜ん、なんなんでしょうねえ。まず、自分がおもしろいことで、かつ人の役に立ったら幸い。そんな感じかなあ。



自分が楽しいと思うことをして、それが誰かの役に立つ！いいね！

それなら、色んな人の笑顔が増えそうな気がする！



市民活動してる時って、あんまり自覚してないわよね。誰かに「それってボランティア活動じゃない？」って言われて、「そういえばそうかなあ」って気づくみたいな。



そう言われてみるとそうかも。市民活動とかボランティア活動って呼ぶことで、逆に自然にできなくなっちゃう人もいるのかもしれないなあ。おはるさんは、なんでずっと市民活動を続けているの？



そうだなあ、周りにいる人が立派で、自分がそれと同じにはなれないけれど、立派だなあって思って感化されるのよね。だから続けていられるのかも。



ピンポン！のたろん、おはるさんの秘密が分かってしまいました！

おはるさんが他の人に感化されてるみたいに、おはるさんみたいになれたらいいなって感じて活動している人が、近くにいるんだと思う！だから、笑顔で続くだよ！ピンポンピンポン！



そんな大層なことないと思うけど…。ありがとね、のたろん。

あなたは「何ゆえ「錦鯉」？」

少しずつ暖かくなってきて花粉情報に一喜一憂している今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。甘党です。今日はちょっとホクホクしております。…というのも、甘党の目の前にある小物入れが何とも「錦鯉っぽい」からなんです。

オレンジ色の地に金色の模様が入った生地を使った小物入れなんです。これが…錦鯉に見えて仕方がない！これも一つの「鯉」ゆえか…

ところで皆さんは「錦鯉」がなぜ「錦鯉」と呼ばれるようになったかご存知ですか？恥ずかしながらその辺の歴史を甘党はよく知らなかったもので、今回ちょっと調べてみました。

もともと日本各地で鯉は食用として飼われていました。そんな食用の鯉の中に、あるとき色や模様が違うものが出てきたそうです。これが大体200年くらい前のお話。もうお気づきかもしれませんが、実は錦鯉も食用の鯉と同じ「鯉」なんです。同じ「鯉」なんです。この色や模様が違うものたちの中から色とりどりの鯉が誕生したとされています。

きれいな鯉が育ったら、やることは決まっていますよね。はい。品評会です。ある時の品評会に展示されていた鯉のきれいに、驚きのあまり「これはまさしく錦鯉だ!!」といった人がいるらしく、それ以来、錦鯉という呼び名が定着していったようです。ちなみにこれを言ったのは当時の新潟県庁水産主任官の阿部圭三さんという方で、「錦鯉」の名付け親と言われています。阿部さん…グッジョブ。「錦」というのは色々な色糸で地色と文様を織り出した織物のことを言いますので、きれいな生地を見て錦鯉を連想した甘党はいたって普通…ですよ、きつと。汗。春は錦鯉がご飯をよく食べ始める時期になります。これから我が家の愛錦鯉も錦上添花に育つといいなあ〜

webで見られます。

錦鯉の小物入れ!!

(小串滋彦)



***** サポセンtopics トピックス

YMCA コミュニティサポート

指定管理を継続します

横須賀市立市民活動サポートセンターの指定管理の更新の時期を迎え、選考のプレゼンテーションに臨みました。2021年の12月の議会で無事に今期の指定管理者に指定されました。

4月からの指定管理は5年間、2027年3月までです。審査の過程で見えてきた課題に向き合い、新たな気持ちで指定管理を担ってまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

サポセンは、福祉、まちづくり、文化、環境、国際、災害救援など、あらゆる分野の市民活動をサポートする施設。通常9時から22時、土日も開館。印刷や打合せなどができます。

◆サポセン情報発信サイト「のたろんジャーナル」

◆Eメール info@yokosuka-supportcenter.jp

◆サポートセンターのホームページ

「のたろんWeb」は「のたろん」で検索♪



のたろん

検索

情報誌「のたろん」春号（通巻90号）

2022年4月1日

発行 横須賀市立市民活動サポートセンター

編集 指定管理者 特定非営利活動法人 YMCA コミュニティサポート

横須賀市本町3-27（京浜急行汐入駅徒歩1分）

TEL 046-828-3130

FAX 046-828-3132

市民活動サポートセンターは、市民活動、ボランティア活動の打合せや作業、情報収集を行なう施設です。ご利用の際は受付にて利用票のご記入をお願いします。

